

夏休み親子セミナー

「驚き・発見！ ねん土でつくろう夢の家」 報告

開催日時：平成23年 8月 6日（土） 13:30 ~ 17:00
開催場所：神戸市中央区雲井通5-3-1サンパル5階 すまいるネットセミナールーム
参加費：500円(材料費)
参加人数：子供9名、保護者8名、計17名
スタッフ11名（すまいスクール委員会8名、すまいるネット3名）
講師：埋蔵文化財センター 山口学芸員
兵庫県建築士会神戸支部すまいスクール委員会 山際、横田
内容：1) 第1部 / 講義 「縄文・弥生時代の生活とすまい」
2) 第2部 / すまいに関するクイズと実験
3) 第3部 / 「夢の家」制作・作品発表 他

兵庫県建築士会神戸支部すまいスクール委員会では、2008年から「夏休み」期間中の親子参加事業(すまいるネット委託事業)を毎年開催しており、今年も内容に趣向を凝らし、楽しくてためになる事業となりました。
以下に当日の様子をお伝えします。

第1部

埋蔵文化財センター山口学芸員に、縄文時代や弥生時代のすまいについて、スライドを使ってわかりやすく説明をしていただきました。



土・木・草といった身近な材料を用いてすまいをつくり、土の特性を最大限に活かした生活をしてきた昔の人の知恵や、すまいの進化・発展など教えていただきました。



山口学芸員の指導のもと、火をおこす体験をしました。摩擦により煙がたち、板が焦げるところまでですが、子供たち自身が実際に行なうことで興味深い経験になったと思います。

第2部

すまいに関するクイズを出題し、子供たちに答えてもらいました。また、この後に皆さんに粘土で「夢の家」づくりをしてもらうこともあり、世界各地の土の家（動物の住処も含め）を紹介しました。夏涼しく、冬暖かい土の家の特徴とともに、土は再利用できることなども勉強しました。



続いて、梁構造の知識につながる「たわみ」の実験を行いました。同じ長さの細長い板に同じ重さのおもりを載せているのに、条件の違いでたわみ方が異なるのを、皆真剣な顔で見つけていました。



第3部

お待ちかねの「夢の家」づくりです。子供達だけでなく、保護者の方々にも挑戦していただきました。今年は、乾きが速く作品に着色できる紙粘土と、オプションとして埴輪用粘土も用意しました。



木の葉・枝・貝殻などの材料を使って、各自が自由な発想で作成しました。形成後には絵の具を使って、粘土だけでなく木の葉や貝殻にも自分たちの好きな色を着色し、それぞれに個性のあふれる「夢の家」が完成しました。



完成後、貫頭衣(弥生時代の服)を着て、それぞれの作品とともに記念撮影を行ないました。その写真を「夢の家」博士認定証に貼り付け、授与しました。

できあがった作品は一人ずつ皆さんの前で披露し、どんなテーマで作成したのか、どんなところを工夫したのかを発表してもらいました。カブトムシの家・貝殻の家・インドの家など、ユニークなテーマも多くありました。終了後のアンケートでは子供達全員から「とても楽しかった」という感想を得ることができ、夏休みのいい思い出になったことと思います。



今回の企画を通して、子供たちに住まいの歴史と家をつくる素材の特徴・文化、昔の人の知恵などに興味をもってもらい、それぞれが創意工夫して「夢の家」をつくり上げる事で、自分自身の個性を活かす機会になったと思います。この経験が彼らの心に残り、有意義な未来を築くことを期待します。

最後になりましたが、ご講義いただきました埋蔵文化財センターの学芸員山口様、会場を提供していただいた上に事前の準備から当日の運営に至るまでご協力いただいたすまいるネットの皆様には厚くお礼申し上げます。